

令和元年度 岡山市子ども・子育て会議 第3回就学前教育・保育部会（議事録/要約）

日時：令和2年2月14日（金）午前10時50分～午前11時38分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室

開会

- ・ 部会長挨拶
- ・ 成立確認・・・委員13名中12名出席にて定足数を充足し、成立を確認。

議事

議事進行は部会長

（1） 保育利用定員及び今後の予定について

こども園推進課 [資料に沿って説明]

委員 全体会資料1-2「岡山市子ども・子育て支援プラン2020（案）」の18ページ「事業No.1 事業名：保育の受け皿の確保」における令和2年4月1日（見込み）は19,848人であり、一方、今説明のあった就学前教育・保育部会の資料における令和2年4月1日の保育利用定員（予定）では17,973人であるが、その違いは何か。

こども園推進課 岡山市子ども・子育て支援プラン2020（案）でお示した19,848人は、特認登録保育施設や企業主導型保育事業といった認可外を含めており、一方、就学前教育・保育部会の資料の17,973人は、認可の保育所、認定こども園及び小規模保育事業といった認可の受け皿をお示ししている。

保育・幼児教育担当局長 岡山市子ども・子育て支援事業計画2020では、令和2年度から3年間で毎年800人ずつ2,400人分の受け皿を確保することとしている。令和3年4月の見込みとしては、認可園において699人分が確保できており、受け皿はほぼ計画どおり整備できているため、これからは保育士の確保の方をしっかりと取り組んでいきたい。

委員 公立認定こども園の移行施設では、0歳、1歳、2歳の受け入れ枠が少ないのではないか。

こども園推進課長 公立認定こども園へ移行する際には、幼稚園と保育所の一体化なのか、幼稚園単独の移行なのかといった移行前の園の形態によって定員設定等が変わってくる。具体的には、今認定こども園は幼稚園からの移行なので保育要件の

枠が新設であり、鹿田、宇野、旭竜認定こども園は、幼稚園と保育所の一体化のため在園児の定員を維持する必要がある。そういったことを考慮して整備を進めている。

委員 こども園の定員設定については、開園当初において、既存の園の人数を前提にしながら調整せざるを得ないことは当然だが、その後の状況を見て、定員設定を順次弾力的に変えていく方針か。

こども園推進課長 私立園においては、実態を見ていただいたうえで、必要な定員の設定の変更という申し出があれば、状況を見ながら市としても考えてまいりたい。

幼保運営課長 公立園においても、その後の入園状況やその先を見越して、各年齢の定員の見直し等を行ってまいりたい。

委員 一体化によって閉園となった園舎をどのように使うのかという話も移行の際に地元の方々と話をするのか。

こども園推進課長 移行の際に保護者の方や地元関係者の方々と協議や打ち合わせをして丁寧に移行しているが、必ず跡地活用を並行して話を進めているわけではない。公共施設の跡地の利用については、基本的には市のルールに基づいて、どういった活用ができるのかについて順次検討していくこととなる。

委員 活用を検討する際に保護者に聞いていただけるとありがたい。

委員 無償化が始まった昨年10月以降、私立幼稚園の入園者数や午後の預かり保育を希望する方がかなり増えている。それに伴い、(償還払いに必要となる)領収書の発行などの事務的な手間がかなり増えており、何らかの配慮をいただきたい。また、保育園利用の2号認定と幼稚園の預かり保育が無償となる新2号認定の違いについて保護者に分かりやすく周知していただきたい。

委員 幼稚園の保護者のニーズは、保育時間の長さや給食があるということでこども園に対する期待が多くなっている。無償化の影響で、私立に希望者が増えて入れない等により、地域のこども園に戻ってくることも考えられるので、その状況に合わせた入園ができるように考えていただければありがたい。

部会長 定員の枠の変更等については、実態に合わせた検討が必要だと考える。

委員 定員設定において、小学校区内の私立の認可保育所の状況を勘案するのか。届出があればそのまま受け入れるのか。

こども園推進課長 教育・保育提供区域の中での待機児童の発生状況や未入園の発生状況を判断したうえで、増員の変更については認めている状況である。

委員 幼稚園を幼稚園型認定こども園として整備し、3歳児の受け入れや一時預かり等

の市民ニーズに応えることはできないか。

こども園推進課長 幼稚園をこども園に移行する場合、給食棟、トイレの改修、エアコンや非常灯の設備等、幼稚園型であっても幼保連携型と同様の整備が必要であるため、岡山市では、開所時間や職員の資格等の条件が緩和されている幼稚園型ではなく、幼保連携型のこども園の整備を進めている。

部会長 保育園と幼稚園の良いところをそれぞれ持ち寄り、質を高めるという点で今後ぜひ努力していただきたい。

委員 こども園が整備される中で、質を保つためにどのような形がいいのかといった内容について、岡山市として子育て会議等の場で検討する予定はあるか。

幼保運営課長 質の担保については、保育所では保育所保育指針、こども園は認定こども園教育・保育要領、幼稚園には幼稚園教育要領があり、岡山市でもそれぞれに基づいた教育保育を行っている。また、職員研修についても、各園の壁を取り払って一緒に研修を行う等により同じような質が保てるような研修・教育等を行っている。

委員 先生方の意見もしっかり取り入れていただいて、良い環境になってほしいというのが保護者の願いである。

部会長 保育の質というのは現場の先生方が本気で考えている。行政としても、先生方のサポートについて十分配慮していただきたい。

委員 公立こども園の定員設定において、3歳児のときに受け入れにくい状況が生じており改善していただきたい。また、質問としては、小規模保育を卒業した後、入れないという声が聞こえてくる。利用調整の点数設定はどうなっているか。

就園管理課長 小規模保育事業から3歳到達し他の園に行く場合、連携園がなければ5点加点、連携園があっても他の園に行く場合は2点加点となる。企業主導型保育事業や認可外の保育所には加点はない。

(2) その他

部会長 その他の項で何かあるか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

閉会